特 許 協 力 条 約

0/517654

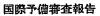
PCT

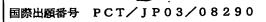
国際予備審查報告

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

REC'D	1	0	JUN	2004
WIPO				PCT

出願人又は代理人 の事類記号 F0887PCT	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。
国際出願番号 PCT/JP03/08290	国際出顧日 (日.月.年) 30.06.2003 優先日 (日.月.年) 01.07.2002
国際特許分類 (IPC) Int. Cl	' G07F5/02, 11/44
出願人 (氏名又は名称) 株式会社トミー	
2. この国際予備審査報告は、この表達 この国際予備審査報告には、「	国際予備審査報告を法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。 紙を含めて全部で 3 ページからなる。 附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。 「実施細則第607号参照)
この附属書類は、全部で	ページである。
I X 国際予備審査報告の基礎 II 優先権	
Ⅲ ∭ 新規性、進歩性又は産業	巻上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
IV 開の単一性の欠如	
V X PCT35条(2)に規定 の文献及び説明 VI bる種の引用文献	する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるため
VII 国際出願の不備	:
Ⅷ □ 国際出願に対する意見	; ;
国際予備審査の請求書を受理した日 08.10.2003	国際予備審査報告を作成した日 20.05.2004
名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP 郵便番号100-8915 東京都千代田区設が関三丁目4	天原 康宏
	留話悉号 03-3581-1101 内線 3386





I.	3	国際予備審查報	と の基礎			•				
1.	1. この国際予備審査報告は下記の出願審類に基づいて作成された。 (法第6条 (PCT14条) の規定に基づく命令に 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告否において「出願時」とし、本報告書には添付しない。 PCT規則70.16,70.17)									
1	X	出願時の国際	张書頭出祭	i						
		明細書 明細書 明細書	第 第 第			ページ、 ページ、 ページ、		こ提出されたも 備審査の請求書 	と共に提出さ	されたもの と共に提出されたもの ・
		請求の範囲 請求の範囲 請求の範囲 請求の範囲	第 第 第			項、 項、 項、 項、	PCT	に提出されたも 1 9条の規定に 備審査の請求書	基づき補正さ と共に提出さ	
		図面 図面	第 第 第			ページ/図 ページ/図 ページ/図	3、 国際予	に提出されたも 備審査の請求 と	と共に提出さ	されたもの と共に提出されたもの
		明細書の配列 明細書の配列 明細書の配列	引表の部分	第		ページ、 ページ、 ページ、		に提出されたも 備審査の請求も 	・ と共に提出さ	されたもの と共に提出されたもの
2.	上記の書類は、下記の言語である 語である。 語である。 語の書類は、下記の言語である 語の 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語 PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語									
3.	国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語 3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。									
□ この国際出願に含まれる書面による配列表 □ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表 □ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された啓面による配列表 □ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表 □ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった □ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。										
4 .		れるので、・	第 第 図面の領 備審査報行 その補正	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	に示した	 ように、補 して作成し	た。(PC´	Γ規則70.2(c)) 範囲を越え この補正を	てされたものと認めら 含む差し替え用紙は上



国際出願番号 PCT/JP03/08290

v.	新規性、進歩性又は産業上の利用可能 文献及び説明	8性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを 	☆ 裏付ける
1.	見解		
	新規性(N)	請求の範囲 <u>1-19</u> 請求の範囲	有 無
	進歩性(IS)	請求の範囲 <u>5-9,14-17</u> 請求の範囲 <u>1-4,10-13,18,19</u>	有 無
	産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 <u>1-19</u> 請求の範囲	有 無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1:日本国実用新案登録出願5-4008号(日本国実用新案登録出願公開6 -59977号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録したCD

-ROM (今野産業株式会社), 1994.08.19 文献2:日本国実用新案登録出願1-63903号(日本国実用新案登録出願公開 3-3077号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイ

クロフィルム (株式会社明和スクリーン), 1991.01.14 文献3:日本国実用新案登録出願58-133019号(日本国実用新案登録出願 公開60-40807号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影 したマイクロフィルム (バイオシステム株式会社), 1985.03.22

文献4: JP 9-16832 A (株式会社バックアップシステム)

1997. 01. 17 JP 2001-229441 A (コンスコア株式会社) 文献5:

 $\frac{1}{2}$ $\frac{1}{0}$ $\frac{1}{0}$ $\frac{1}{0}$ $\frac{1}{0}$ $\frac{1}{0}$ $\frac{1}{0}$ $\frac{1}{0}$ $\frac{1}{0}$ $\frac{1}{0}$

請求の範囲1に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1と文献2とにより進 歩性を有しない。文献1には、フレームに商品排出機を設けることが記載されてい る。文献2には、フレームに対して商品排出機を着脱可能に嵌込み状態で固定するこ とが記載されている。

請求の範囲2、3に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1~3により進歩 性を有しない。文献3には、上下に重畳可能で、かつ、横方向に並設可能に構成されるフレームが記載されている。

請求の範囲4、10に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1~4により進 歩性を有しない。文献4には、商品排出機のケース体の上面に、商品充填開口を設け ることが記載されてる。

請求の範囲11-13, 18, 19に係る発明は、国際調査報告で引用された文献 $1\sim5$ により進歩性を有しない。文献5には、フレームにクリーンボックスを設ける ことが記載されている。

請求の範囲 5-9, 14-17 に係る発明は、国際調査報告に引用されたいずれの 文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。